

2026 年 11 月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2026 年 7 月 17 日

上 場 会 社 名 株式会社大伸社 上場取引所 東
 コー ド 番 号 9169 URL https://www.daishinsha.co.jp/
 代 表 者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 上平 泰輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 富田 大輔 (TEL) 06 (6976) 5550
 中間発行者情報提出予定日 2026 年 8 月 19 日 配当支払開始予定日 ー
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026 年 11 月期中間期の連結業績 (2025 年 11 月 21 日～2026 年 5 月 20 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026 年 11 月期中間期	3,159	△5.9	128	△27.4	133	△20.8	74	△19.3
2025 年 11 月期中間期	3,356	1.5	176	101.6	169	48.3	91	5.8

(注) 中間包括利益 2026 年 11 月期中間期 145 百万円 (49.3%) 2025 年 11 月期中間期 97 百万円 (△34.0%)

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026 年 11 月期中間期	30.24	ー
2025 年 11 月期中間期	37.45	ー

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026 年 11 月期中間期	6,776	3,814	56.1
2025 年 11 月期	6,912	3,717	53.6

(参考) 自己資本 2026 年 11 月期中間期 3,803 百万円 2025 年 11 月期 3,708 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025 年 11 月期	0.00	20.00	20.00
2026 年 11 月期	0.00		
2026 年 11 月期(予想)		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026 年 11 月期の連結業績予想 (2025 年 11 月 21 日～2026 年 11 月 20 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,800	4.6	180	△9.8	200	△11.6	120	△25.8	48.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026 年 11 月期中間期	2,640,000 株	2025 年 11 月期	2,640,000 株
-----------------	-------------	--------------	-------------

② 期末自己株式数

2026 年 11 月期中間期	189,180 株	2025 年 11 月期	189,180 株
-----------------	-----------	--------------	-----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026 年 11 月期中間期	2,450,820 株	2025 年 11 月期中間期	2,450,820 株
-----------------	-------------	-----------------	-------------

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年11月21日から2026年5月20日まで)におけるわが国経済は、米国の通商政策等の影響が残るものの、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、緊迫化する中東情勢に伴う原油価格への影響や、米国の通商政策をめぐる動向など、世界情勢の変化が国内景気に与える影響を注視する必要があります。このような経営環境の中、当社グループは以下の4つの事業セグメントについて企業活動を行ってまいりました。

1. Marketing Produce事業(マーケティングプロデュース)
2. Printing事業(プリンティング)
3. Design Research事業(デザインリサーチ)
4. BPO事業(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(Marketing Produce事業)

Marketing Produce事業(マーケティングプロデュース)においては、CX(顧客体験)デザインの考え方をを用いた戦略支援やコミュニケーションツールの制作案件が減少した結果、売上高は2,265,109千円(前期比6.7%減)となり、セグメント利益は78,826千円(前期比45.2%減)となりました。

(Printing事業)

Printing事業(プリンティング)においては、ハイブランド商業印刷物分野の売上が堅調に推移しました。しかしながら用紙をはじめとする印刷関連の資材費や外注加工費の高騰の影響や、価格要件の厳しい美術印刷分野の失注が目立った結果、売上高は542,565千円(前期比9.0%増)となり、セグメント利益は319千円(前期比46.6%減)となりました。

(Design Research事業)

Design Research事業(デザインリサーチ)においては、2025年10月に出版した「CX経営の教科書」を起点としたCXをテーマとした取り組みが増えた一方、製薬企業における従来型のマーケティングリサーチが減少しました。また前年度に比べ展示会などの外注比率の高い案件が減少した結果、売上高は325,839千円(前期比18.5%減)となり、セグメント利益は28,824千円(前期比250.5%増)となりました。

(BPO事業)

BPO事業(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)においては、既存顧客の一部において契約が終了しましたが業務効率化を進めた結果、売上高は6,058千円(前期比20.4%減)となり、セグメント利益は3,559千円(前期比67.7%増)となりました。

以上の結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は3,159,509千円(前期比5.9%減)、営業利益は128,395千円(前期比27.4%減)、経常利益は133,860千円(前期比20.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は74,103千円(前期比19.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ135,898千円減少し、6,776,426千円となりました。これは主に、電子記録債権が121,982千円、有形固定資産が233,541千円、投資有価証券が115,552千円増加した一方、現金及

び預金が111,235千円、受取手形、売掛金及び契約資産が511,132千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ232,039千円減少し、2,962,335千円となりました。これは主に、未払費用が21,681千円、未払法人税等が35,969千円、長期借入金が40,748千円増加した一方、支払手形及び買掛金が224,098千円、短期借入金が110,000千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ96,140千円増加し、3,814,091千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことに伴い利益剰余金が74,103千円、その他有価証券評価差額金が72,629千円増加した一方、剰余金の配当に伴い利益剰余金が49,016千円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ111,235千円減少し、571,026千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、335,805千円の収入(前中間連結会計期間は123,529千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益132,752千円、減価償却費41,067千円、のれん償却額16,913千円、売上債権の減少額389,149千円等の資金の増加があった一方、仕入債務の減少額245,895千円、法人税等の支払額18,804千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、334,580千円の支出(前中間連結会計期間は95,398千円の支出)となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入17,365千円等の資金の増加があった一方、有形固定資産の取得による支出269,994千円、保険積立金の積立による支出76,161千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、114,816千円の支出(前中間連結会計期間は68,007千円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入100,000千円の資金の増加があった一方、短期借入金の純減少額110,000千円、長期借入金の返済による支出47,360千円、配当金の支払額49,016千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月19日に公表いたしました2026年11月期連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年11月20日)	当中間連結会計期間 (2026年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	791,892	680,657
受取手形、売掛金及び契約資産	1,629,286	1,118,154
電子記録債権	99,865	221,848
商品及び製品	4,280	4,284
仕掛品	188,326	171,763
原材料及び貯蔵品	179	179
その他	273,524	266,290
貸倒引当金	△755	△452
流動資産合計	2,986,600	2,462,725
固定資産		
有形固定資産	404,092	637,634
無形固定資産		
のれん	56,377	39,463
その他	34,561	27,734
無形固定資産合計	90,938	67,198
投資その他の資産		
投資有価証券	1,164,840	1,280,392
保険積立金	914,580	972,662
投資不動産(純額)	733,967	727,433
その他	622,632	633,754
貸倒引当金	△5,329	△5,375
投資その他の資産合計	3,430,692	3,608,868
固定資産合計	3,925,724	4,313,700
資産合計	6,912,324	6,776,426

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年11月20日)	当中間連結会計期間 (2026年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456,399	232,301
電子記録債務	97,909	68,562
短期借入金	480,000	370,000
1 年内返済予定の長期借入金	65,312	77,204
リース債務	16,930	17,051
未払費用	279,488	301,169
未払法人税等	37,075	73,044
その他	258,053	232,604
流動負債合計	1,691,169	1,371,937
固定負債		
長期借入金	263,104	303,852
リース債務	61,200	52,643
役員退職慰労引当金	234,127	249,366
退職給付に係る負債	735,440	734,574
その他	209,333	249,961
固定負債合計	1,503,205	1,590,397
負債合計	3,194,374	2,962,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	83,716	83,716
利益剰余金	3,141,142	3,166,229
自己株式	△90,951	△90,951
株主資本合計	3,233,907	3,258,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	352,175	424,805
退職給付に係る調整累計額	121,930	119,561
その他の包括利益累計額合計	474,106	544,366
非支配株主持分	9,937	10,730
純資産合計	3,717,950	3,814,091
負債純資産合計	6,912,324	6,776,426

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

① 中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年11月21日 至 2025年 5 月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年11月21日 至 2026年 5 月20日)
売上高	3,356,041	3,159,509
売上原価	2,291,522	2,143,971
売上総利益	1,064,518	1,015,537
販売費及び一般管理費	887,778	887,142
営業利益	176,740	128,395
営業外収益		
受取利息	2,110	917
受取配当金	10,711	11,783
その他	134	2,674
営業外収益合計	12,956	15,375
営業外費用		
支払利息	6,368	8,484
為替差損	14,241	—
その他	1	1,426
営業外費用合計	20,611	9,910
経常利益	169,085	133,860
特別損失		
投資有価証券評価損	896	—
減損損失	—	1,108
特別損失合計	896	1,108
税金等調整前中間純利益	168,188	132,752
法人税、住民税及び事業税	105,733	72,544
法人税等調整額	△29,498	△14,694
法人税等合計	76,235	57,850
中間純利益	91,953	74,901
非支配株主に帰属する中間純利益	178	798
親会社株主に帰属する中間純利益	91,774	74,103

②中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年11月21日 至 2025年 5 月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年11月21日 至 2026年 5 月20日)
中間純利益	91,953	74,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,564	72,629
退職給付に係る調整額	3,681	△2,369
その他の包括利益合計	5,245	70,260
中間包括利益	97,198	145,162
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	97,019	144,363
非支配株主に係る中間包括利益	178	798

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年11月21日 至 2025年 5 月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年11月21日 至 2026年 5 月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	168,188	132,752
減価償却費	45,128	41,067
減損損失	—	1,108
投資有価証券評価損	896	—
のれん償却額	16,913	16,913
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△107
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△9,478	△6,543
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,902	15,239
受取利息及び受取配当金	△12,821	△12,701
支払利息	6,368	8,484
売上債権の増減額(△は増加)	5,657	389,149
棚卸資産の増減額(△は増加)	39,122	16,559
仕入債務の増減額(△は減少)	△197,106	△245,895
その他	76,852	△5,453
小計	155,620	350,572
利息及び配当金の受取額	12,843	12,604
利息の支払額	△6,260	△8,567
法人税等の支払額	△38,674	△18,804
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,529	335,805
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	△10,750	△269,994
無形固定資産の取得による支出	—	△2,727
投資有価証券の取得による支出	△3,125	△2,876
保険積立金の積立による支出	△84,601	△76,161
保険積立金の解約による収入	—	17,365
その他	△1,921	△5,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,398	△334,580

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年11月21日 至 2025年5月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年11月21日 至 2026年5月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△90,000	△110,000
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△32,920	△47,360
リース債務の返済による支出	△8,315	△8,434
配当金の支払額	△36,762	△49,016
非支配株主への配当金の支払額	△10	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,007	△114,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,688	2,356
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△49,565	△111,235
現金及び現金同等物の期首残高	803,413	682,262
現金及び現金同等物の中間期末残高	753,848	571,026

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業会社を基礎としたセグメントから構成されており、

1. Marketing Produce事業(マーケティングプロデュース)
2. Printing事業(プリンティング)
3. Design Research事業(デザインリサーチ)
4. BPO事業(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「Marketing Produce 事業」は、主に企業のコミュニケーションツールの企画制作、店舗・ショールームなどの空間デザインと集客支援、商業施設集客イベントの企画運営などを通した様々なプロモーション活動の支援を行っております。「Printing 事業」は、主にオフセット枚葉印刷機による印刷を中心とした印刷物の生産を行っております。「Design Research 事業」は、主に定性リサーチによるユーザーインサイトの提供と、デザイン思考の手法・プロセスを使った各種開発支援、既存事業の顧客体験改善・変革支援を行っております。「BPO 事業」は、主に当社グループ各社向けに、人事・経理・総務を中心とした管理業務の受託を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、中間連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

前中間連結会計期間(自 2024 年 11 月 21 日 至 2025 年 5 月 20 日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 財務諸表 計上額 (注)3
	Marketing Produce	Printing	Design Research	BPO	計				
売上高									
一時点で移転される財 又はサービス	—	497,890	—	—	497,890	—	497,890	—	497,890
一定期間にわたり移転 される財又はサービス	2,428,298	—	399,637	7,608	2,835,545	22,605	2,858,150	—	2,858,150
顧客との契約から生じ る収益	2,428,298	497,890	399,637	7,608	3,333,435	22,605	3,356,041	—	3,356,041
外部顧客への売上高	2,428,298	497,890	399,637	7,608	3,333,435	22,605	3,356,041	—	3,356,041
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66,752	333,265	2,105	91,046	493,169	—	493,169	△493,169	—
計	2,495,051	831,155	401,742	98,655	3,826,604	22,605	3,849,210	△493,169	3,356,041
セグメント利益	143,842	597	8,224	2,122	154,787	8,611	163,398	13,341	176,740

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸事業であります。また、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入は重要性がないため、顧客との契約から生じる収益に含めております。

2. セグメント利益の調整額 13,341 千円は、主にセグメント間取引消去額及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025 年 11 月 21 日 至 2026 年 5 月 20 日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 財務諸表 計上額 (注)3
	Marketing Produce	Printing	Design Research	BPO	計				
売上高									
一時点で移転される財 又はサービス	—	542,565	—	—	542,565	—	542,565	—	542,565
一定期間にわたり移転 される財又はサービス	2,265,109	—	325,839	6,058	2,597,006	19,937	2,616,944	—	2,616,944
顧客との契約から生じ る収益	2,265,109	542,565	325,839	6,058	3,139,572	19,937	3,159,509	—	3,159,509
外部顧客への売上高	2,265,109	542,565	325,839	6,058	3,139,572	19,937	3,159,509	—	3,159,509
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,130	261,925	10,470	110,409	419,936	—	419,936	△419,936	—
計	2,302,240	804,490	336,309	116,467	3,559,508	19,937	3,579,445	△419,936	3,159,509
セグメント利益	78,826	319	28,824	3,559	111,530	9,273	120,804	7,591	128,395

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸事業であります。また、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入は重要性がないため、顧客との契約から生じる収益に含めております。

2. セグメント利益の調整額 7,591 千円は、主にセグメント間取引消去額及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。